



中部電力

ディープラーニングを用いた設備認識技術

画像に映る配電設備などを 自動で検出します。

背景・目的

- 設備の巡視や外観点検においては多大な人工を要しています。
- 巡視・外観点検などの設備保全業務の効率化・高度化にAIの技術が活用できるか検証します。
- 時間短縮・省力化・安全確保・保全費低減を目指します。

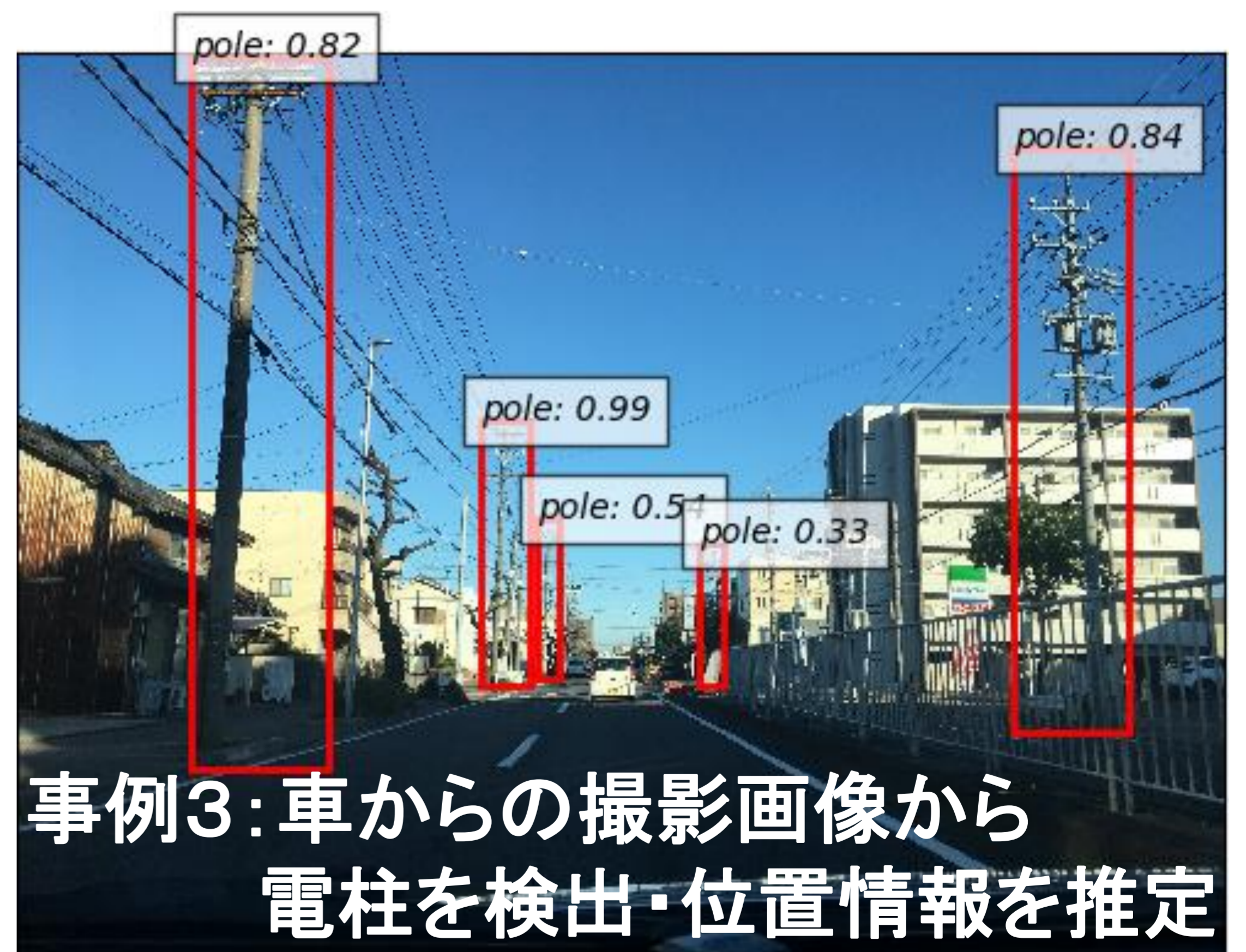
特長

- オープンソースソフトウェアの活用により、安価に物体検出技術を実現します。
- 異常箇所検出の実現を目指します。

用途

- ドローンの自律飛行制御に活用し、高所設置設備の安全かつ短時間での自動巡視
- 検出した結果を用いた設備情報の更新
- 将来的には、異常箇所の自動検出による外観点検の省力化

活用事例



開発者の ひとこと

自動車やドローン等から得られた画像・映像にAIを組み合わせることで、様々な当社の課題を解決できる可能性があります。適用に向け、検証を行っています。